

雲北陵月報

No. 489

令和8年5月29日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

校長就任のご挨拶



松本 克己

謹啓 向暑の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申しあげます。さて、私は四月一日付けをもちまして、水谷厚志前校長の後を受け、学校法人水谷学園出雲北陵中学・高等学校校長に就任致しました。

初代校長水谷キワ先生から2代校長水谷鑑先生・3代校長水谷勲先生・4代校長水谷厚志先生と受け継がれた、本校の永い歴史の上に立つという大きな重圧に、身が引き締まる思いです。

本校に赴任して本年度が38年目になります。その間、様々な出来事がありました。その度に教職員の皆様を支えられ、今まで頑張ってくる

ことができました。また、何よりも本校で出逢った多くの生徒達に救われたように思います。

これから、多様化が進み、様々なことが変容していくのだと思います。

そういう時代であるからこそ、本校は校訓「柔しく剛く」の旗の下、伝統を重んじながらも新しい学園の姿を求め続けなければならないと感じております。学園と生徒達を愛する教職員集団として、教職員一同が同じ方向を向いた学園でありたいと思っております。そして、少しでも生徒達の夢の実現への手助けができるよう、また、時代に必要とされる青少年の育成に向けて、教職員一同で精進していこうと思えます。

つきましては、前校長同様よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

校長退任のご挨拶



水谷 厚志

謹啓 向暑の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申しあげます。

平成十五年四月、本学園が斐川町直江の地に北陵幼稚園を開園することになったことを機に、水谷勲第3代校長からバトンを受け校長に就任しましたが、この度、令和八年三月末をもって校長職を退任致しました。校長就任以来、在職二十三年の間、皆様には公私にわたり格別のご厚情・ご高配を賜り、お蔭を持ちまして卒業生をはじめとする生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、教育関係者の皆様方と充実した日々を過ごすことができましたこと、心より感謝申しあげます。

校長在職中は、本校の建学の精神「柔しく剛く」を全教育活動の基盤とし、先代校長が掲げた人間観・教育観あるいは教育方針を大切にしながら、緑豊かな環境の中で、学業はもとより、芸術とスポーツ、さらには国際交流の盛んな清新で明るく力強い校風づくりに努めて参りました。加えて、この十年では教育内容の特色化やICT教育といった時代の求める教育改革を進め、学力向上に併

せて、生徒の持つ良さを一層生かせるよう、進路指導、英語教育、芸術やスポーツ活動の振興など、教職員の皆様と力を合わせて鋭意努力を続けて参りました。その成果は、近年の高等学校における難関国公立大学への合格実績、二十四年連続就職内定率100%達成をはじめ、中・高の卓球部・なぎなた部の全国大会優勝・準優勝、吹奏楽部・合唱部の全国大会金賞受賞、美術部・写真部の多くの全国出品・各種コンクールでの入賞といった部活動における各部の活躍に表れており、大変嬉しく思っております。

今日、急激な少子化の進展をはじめ、首都圏と地方、公立と私立の間にある様々な格差問題(いわゆる高校無償化)はスタートしましたが、など、本県私学を取り巻く環境には大変厳しいものがあります。しかし、そうした中でも県内私立各校の活躍は目覚ましく、特色ある私学教育の良さが理解されつつあることは誠に有難いことです。

今後は松本新校長と力を合わせ、熱き青春を夢見る若人が集う「緑豊かで美しい学園」、「青春の杜(森)」づくりに邁進して参りたいと思えます。結びに、皆様から賜りました数々のご厚情に対し重ねてお礼を申し上げます。校長退任のご挨拶とさせていただきます。

謹白

女子ソフトテニス部

全国大会出場決定!

島根県高等学校ソフトテニスシングルス大会

時 4月12日
於 浜山公園テニスコート

優勝 今田 心(23江津)

2位 水永成実(23江津)

3位 牛尾真緒(21江津)、末田美雨(13江津)

3位 森田早貴(34江津)、落合 遥(33江津)

3位 曾田珠凛亜(33江津)、三原夏帆(13江津)

大会総評

優勝した今田は、2年連続で6月に行われるハイスクールジャパンカップ(北海道)への出場権を獲得した。シーズン最初の公式戦で上位を独占できたことは良かった。応援有難うございました。

島根県高等学校ソフトテニス中国大会予選

時 4月24~26日
於 浜山公園テニスコート

個人戦

優勝 落合 遥・森田早貴ペア

2位 井上心々奈(33江津)・牛尾真緒ペア

3位 今田 心・末田美雨ペア

団体戦

優勝 団体メンバー(落合・森田・今田・末田・井上・牛尾・水永・村尾)

2回戦 3-0 益田翔陽

3回戦 2-0 松江東

準決勝 2-0 松江南

決勝 2-0 浜田

大会総評

個人戦で優勝した落合・森田ペアは6月に行われるハイスクールジャパンカップ(北海道)の出場権を獲得した。確認できた課題をこれからの期間でしっかりと克服できるように取り組みを強化しました。



団体戦優勝メンバー

3日間応援・サポート有難うございました。(顧問 金森 快)

男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニスシングルス大会

時 4月12日
於 浜山公園テニスコート



3位の木村一心

3位 木村一心(21江津)

3位 川原 真(34江津)

3位 富岡光輝(33江津)

島根県高等学校ソフトテニス中国大会予選

時 4月24~26日
於 浜山公園テニスコート

個人戦

2位 三島綾太(32江津)・木村一心ペア

3位 高野幸大(33江津)・仲津想大(33江津)ペア

3位 高木映瑠(34江津)・川原 真ペア

3位 河野穂希(33江津)・山下柊人(35江津)ペア

団体戦 2位 団体メンバー(三上・三島・川原・山下・高木・河野・高野・木村)

2回戦 3-0 出雲

準決勝 2-0 津和野

準決勝 2-0 出雲工業

決勝 1-2 松江工業

大会総評

県総体のシード権を決める大切な試合であったが、団体、個人ともに悔しい結果となった。一か月後の総体でしっかりとリベンジできるようにこれから期間を大切に準備していきたい。当日はたくさんの方の保護者、OBの方に応援に来ていただき有難うございました。(顧問 佐々木雄志)

卓球部

第73回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会

時 4月23~25日
於 益田市民体育館

男子団体 優勝(2年ぶり16回目)

男子シングルス 3位 波多間怜偉(23江津)、松崎優樹(23江津)

男子ダブルス 優勝 三好蒼空(32江津)・金丸 陽(32江津)組

2位 福田健人(35江津)・波多間怜偉組

大会総評

団体戦は出場した選手がそれぞれ持ち味を発揮し、16回目の優勝を果たすことができた。決して慢心することなく、6月の県高校総体では完全優勝できるようにチーム一丸となって戦いたい。



団体優勝メンバー



ダブルス優勝の三好・金丸組

第78回中国卓球選手権大会島根県予選大会

時 5月10日
於 島根県立体育館

男子シングルス

優勝 三好蒼空

2位 波多間怜偉

3位 福田健人、金丸 陽

男子ダブルス

優勝 三好蒼空・金丸 陽組

2位 松崎優樹・天野遙空(13江津)組

3位 清水寛生(42江津)・今福瀧司(42江津)組

大会総評

接戦となる試合が多かったが、苦しい場面でも粘り強くプレーし、自分達の力を発揮できたことは大きな収穫であった。一方で、細かな技術面や試合運びには課題も見られたため、中国大会本戦に向けて更に精度を高めていきたい。

第22回出雲市オープン卓球大会

時 5月18日
於 出雲市総合体育館

男子団体 優勝 出雲北陵A

団体メンバー(福田・三好・金丸・波多間)

男子シングルス 優勝 金丸 陽

2位 三好蒼空

3位 福田健人、天野遙空

大会総評

団体戦・個人戦ともに、日頃の練習の成果を発揮することができた。県高校総体に向けて、チームのムードは高まってきた。コンディションを整えて県総体に臨みたい。(顧問 古瀬泰之)

テニス部

島根県高等学校テニス選手権大会

時 4月24~26日
於 男子 石見海浜公園テニスコート

女子 益田運動公園テニスコート

男子シングルス

渡部悠真(32江津) 1回戦敗退

加地朔也(21江津) 1回戦敗退

男子ダブルス

渡部悠真・小村奏太(24江津) 1回戦敗退

女子シングルス

石原麻帆(33江津) 1回戦敗退

大会総評

総体の出場権をかけた選手権。選手達は新体制のもと練習に励んだが結果には至らずの試合だった。反省点を生かし総体での上位進出を目指したい。(顧問 永瀬貴之)



陸上競技部

第80回出雲陸上競技大会

時 4月11・12日
於 浜山

佐伯翔汰(32江津)・平井涼太(34江津)・藤原有亮(35江津)・小松原蒼空(24江津)

4x100m R

大野 蓮(32江津) やり投

5位 7位

大会総評

春の三大大会が終わり、地元開催の出雲陸上では2種目で入賞した。他の選手も自己記録を更新するなど良い仕上がりを見せた。県高校陸上大会では、新入生の5名とともに中国大会出場を目指して頑張りたい。(顧問 中澤 悟)

一斉書写

時 4月17日

新年度の最初の学校行事として、全校生徒による「一斉書写」を実施した。緊張感ある雰囲気の中で、全員がしっかりと取り組み、貴重な時間を過ごすことができた。新入生も出雲北陵生の一員としてスタートをきることができた。

野球部

島根県春季高等学校野球大会

時 4月18日
於 平田愛宕山野球場
出雲北陵 1-4 津和野

今大会は、主当番校として臨む大会となり、運営の大変さと試合をすすむ喜びを味わうことができた。結果は敗戦となったが、ここまで培ってきたものが実を結ぶ日がそう遠くないことを実感する大会となった。そして、夏の躍進に向けて様々な点を見直すことができた。夏の選手権大会では、結果にこだわって戦いたい当日は球場に足を運んでいただき有難うございました。(顧問 畑 宗一郎)

吹奏楽部

第30回定期演奏会

時 5月9日
昼の部 14時開演
夜の部 18時30分開演
於 出雲市民会館大ホール

30回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。新体制となって初めての本番であり、最大限の準備をして本番を迎えた。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1700名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。



スペシャルゲストには、トランペット奏者の白石実様をお招きした。観客を魅了する美しい音色、卓越した技術と豊かな音楽性に観客は大いに盛り上がり、共演した部員達にとっても大変貴重な経験となった。

この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の皆様をはじめ、多くの方々の支えがあったことであり、部員一同感謝するとともに、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していききたい。(顧問 竹内康貴)

学校周辺をリフレッシュ！ 教職員奉仕日



4月28日、本校教職員による学校周辺の清掃活動を行った。当日は1時間という限られた時間だったが、側溝に溜まった重い泥の撤去や、隙間に生い茂った草削り、大量の落ち葉掃きなど、全員で汗を流して集中して取り組んだ。清掃が終了する頃には見違えるほど綺麗になり、水の流れもスムーズになった。今後も学校周辺の環境整備の一貫として奉仕に努めていきたい。

高校生徒総会開催

時 5月15日
於 本校体育館

高校生全員が体育館に集まり、生徒総会を実施した。川原生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動、予算等について提案があり、慎重に審議された。今年度のスローガンは「万華彩新」である。常に新しい変化とあたたかい学校をつくるという生徒会の気持が込められている。LHRを活用したアンケートの実施や、校則の見直しなども提案された。全校生徒が積極的に参加し、活気ある生徒会になることを期待している。

高校3年生保護者対象 進学マネー講座 及び進路保護者会の開催

時 5月11日
於 黎明ホール・図書室

高校3年生の保護者対象に進路保護者会を開催した。会に先立ちファイナンシャルプランナーの菅原麻美様を講師にお招きし、受験にかかわる費用と資金の準備についてお話をいただいた。続いて進路保護者会では進学と就職に会場を分けて、中澤悟進路指導部長・椿英史就職指導部長からそれぞれ合格・

内定を勝ち取るためのお話をさせていただいた。全体会終了後、各学級担任と具体的な進路についての個別面談を行った。進路決定の時期を迎え、それぞれの生徒が希望する進路実現が出来るように、しっかりとサポートしていきたい。

中学校

野球部

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選
時 4月18日
於 浜山少年野球場

本校 8-3 多伎
本校 0-3 斐川西

出雲部春季野球大会

時 5月2日
於 平田愛宕山球場

本校 2-3 斐川西
○大会総評
今シーズン初めての公式戦となった。冬場の練習を乗り越えた2年生10名を中心に粘り強く戦えるようになってきたことは総体に向けて収穫であった。プロック大会のシードを取ることはできなかったが、まず1勝できたことは今後においても大きな一歩となった。まずは県総体出場を決めることができるように練習に励み、本番に臨みたいと思う。(顧問 酒井甲太郎)

卓球部

第49回島根県中学生卓球選手権大会
時 4月29日
於 鹿島総合体育館

(男子団体)優勝(3年ぶり12回目)
(男子シングルス)
優勝 清水寛生
2位 今福龍司
3位 福島陽希(21歳)、垣原政仁(19歳)、
村守結仁(12歳)

○大会総評
3位 菅原梨功(21歳)・平木大翔(22歳)組
日頃の練習の成果が発揮された一方で、要所での判断やプレーの精度にはま

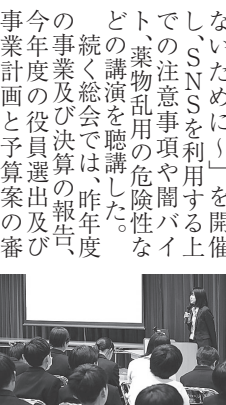


中学校生徒総会開催

5月8日、生徒総会が開催された。生徒会執行部と各専門委員会の間で、今後の取り組みについての議論が活発に行われた。その後、目標や活動内容を全校の前で発表した。今年度の生徒会は和気藹々、生徒みんなが仲良く楽しめる学校を目指している。竹下和輝生徒会長を中心に、生徒が主体となって行動してより良い学校を作って欲しい。

授業参観・保護者研修・ 保護者会総会・学級懇談会開催

時 5月11日
於 北陵ホール他
当日は、5時間目には保護者研修会を兼ね、島根県警察本部少年補導員の吉野七葉様による「ネット安全教室」トラブルや犯罪に巻き込まれないために「」を開催し、SNSを利用する上での注意事項や間違った、薬物乱用の危険性などの講演を聴講した。続く総会では、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議を行い、すべて承認された。本年度保護者会役員の皆様は次の通り。



保護者研修会の様子

会長 山崎 嶺
副会長 松原 亮(3年)
持田 怜(2年)
監事 岡 克巳(3年)
宮廻 和泰(1年)

作品と研究

三年論理国語の時間から

日々の生活の中からの小さな気づきは将来の宝となるかもしれません。気づき学ぶ姿勢のヒント紹介します。

人間年齢は関係ない、実力のあるものが勝るのである

この前、中学生のいとこと散歩に出かけました。近くに神社があり、ちよつとした長さの階段があります。先に乗まで上がった人が勝ち、という事で勝負です。家では階段を駆け上がった私は高校三年です。負けるわけはなく楽勝だと思いました。「よーい、ドン」で始まった瞬間、一気に上がっていったのはいとことでした。

いとこは部活動の現役で毎日のように練習しています。私は体力には自信を持っていましたが、高校に入ってから運動はしていません。年齢や見た目で軽く考えていた私は、世の中を甘く見ていたことを痛感してしまいました。

「明日がある」、「未来には夢がある」は危険な考え方だ

週末の宿題としてある課題が提示されました。今授業で取り組んでいる分野は、順調に理解できており、今回の課題も苦勞せずとも完了できる内容でした。軽く考えていた私は、「せっかくの週末だから、土曜日はゆ

っくり休もう」と心に決め、優雅に休日を楽しみました。日曜日を迎える朝から取り組めば難なく終わる課題でしたが、午前中は前日の流れを汲んでゆつたり過ごしてしまいました。昼を過ぎると状況が徐々に変わってきました。私の心の中に「焦り」と「後悔」が生じ始めました。早く手掛けておけばよかったものを、この感情がさらに私のやる気を抑え込んだため、結局夕方になってから取り掛かることになりました。休日のフィナーレは「さあ明日からまた頑張るぞー」と行きたかったところでしたが、疲労感に満ちた「何とか間に合った」という後味の悪い達成感、悪夢でも見てしまいそうな浅い睡眠で月曜の朝を迎えました。土曜のリフレッシュを帳消しにし、精神的疲労を持ち越したまま月曜を迎えることになった無意味な週末となってしまいました。

明るい未来を想像し、前向きに歩めるのは心に余裕が持ててこそであると思います。辛くても、苦しくても、面倒くさくても、しなければならぬことを日々取り組んでいる人が「明日がある」「未来には夢がある」と前向きに考える権利があるのだと痛感しました。

知識・教養、無駄なことは一つもない

この前、祖母からタケノコをいただきました。春の季節のものとして私は大好きな食べ物の一つです。メンマ、てんぷら、鮮度の良いものはお刺身でもおいしくいただけます。

私は特にてんぷらが好きです。そのタケノコですが、祖母と話をしていると何かかみ合いません。タケノコは土の中から掘り起こすものだから知っていたので、ジャガイモやサツマイモのようなもの思っていました。だが、祖母が言うにはこれが成長して竹になるのだというのです。はじめは何を言っているんだろうと、理解に苦しみました。少しずつ飲み込めてきました。そして少しずつ恥ずかしさも増してきました。「あんた、しゃんことも知らずこに、タケノコ、まいまい、てていって、食べべとったかねえ」と大笑いされたのです。確かによく見ると、竹のよう節があります。先の細いところが伸びていくと、そのまま竹になりそうです。普段は車に乗っても外を見ませんが、竹やぶにふと目をやると、巨大なタケノコが三メートルぐらいに伸びていました。愕然としました。

学校で勉強していて、いったいこんな知識いるのだろうか、これ出来ても自分には一生役に立たないな、使うことないな、と浅薄な功利主義を根拠に学問に抵抗していましたが、「タケノコ」とはどのようなものか、「タケノコ」の本質、「タケノコ」の意義、などを知らなかった私はこのような恥ずかしい思いをすることになったのです。今回祖母の指摘だったからまだよかったです。胸をなでおろすことができました。これが、社会

人になり、三十、四十、親になったころだったらと思うと冷や汗が出てきました。高校までは先生が授業で多くのことを教えていただけです。若造の浅はかな損得勘定は捨て、知識・教養を深め、理解に努め、学問にはげむことは大切なことだと痛感しました。

日々何となく過ごしがちですが、一日を振り返ると小さな学びのヒントがたくさんあります。出雲北陵学園では始業の前に「黙想」をして心を落ち着けてから授業が始まりますが、一日の終わりに今日はどんなことがあったかなと目を閉じて思い出してみると小さなひらめき、教訓が見えてきます。皆さんもぜひ振り返りから気づきを見出し、自分の生き方の糧にしてみませんか。

今月の
1枚

「moments」

亀山 月夢
(25歳)

